

請 願

請願第3号 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願

提 出 者 新日本婦人の会・白河支部 支部長 松井 美佐保

紹介議員 深谷 弘



<要 旨>

男女平等度を示す「ジェンダーギャップ指数」で日本は2023年、146カ国中125位と過去最低となった。選択議定書の批准は、個人に救済の道を開くにとどまらず、司法、立法、行政の場で女性差別撤廃条約を生かして具体的に差別撤廃を進める力になる。政府は、第5次男女共同参画基本計画にのっとり、すみやかに選択議定書を批准すべきである。

請願第3号については、「意見書第4号」として関係機関に提出しました。

請願第6号 犬猫の繁殖防止のための「不妊去勢手術助成金制度」の創設を求める請願書

提 出 者 近藤栄子、あさかわペットサポート 代表 上野 邦江

紹介議員 深谷 弘



<要 旨>

飼い犬猫や飼い主のいない犬猫の繁殖抑制を図り、地域の良好な生活環境を守るため、手術助成金制度ができている。それらの自治体では制度の利用が進み、住民からの高い評価を得ている。白河市の生活環境整備と、人と動物の共生する社会をつくるために、去勢不妊手術助成金制度の創設を求める。

<市民産業常任委員会での審査経過>

飼い犬猫については、飼い主の責任により、不妊去勢手術の対処をすべきであるとの意見があり、採決の結果、全会一致で不採択すべきものと決しました。

討 論

議案第97号 令和6年度白河市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について



賛 成

佐川 琴次 議員

令和6年度予算は、物価高騰による経常経費や人件費の増加に対応しつつ、「少子化対策」、「未来への投資」、「居場所づくり」を3本柱として予算編成している。一方、歳入をみると、これまで推進してきた企業誘致や徴収率の向上対策の効果もあり、自主財源の根幹を成す市税が約98億円と過去最高となった。また、地方債残高は着実に減少しており、自主財源の確保と財政の健全化に向けた結果、実質公債費比率、将来負担比率などの財政指標も健全な数値を示している。今後少子高齢化の進行により労働人口が減少し、歳入の伸び悩みが懸念される中で、社会保障費や施設の維持管理費、自然災害への備え、複合施設建設費や、上下水道のインフラ整備に多くの経費を要する。令和6年度末の基金の残高は合計約80億円で、市民の暮らしを豊かにする事業、安全・安心を確保する事業、利便性の向上や将来を見据えた事業など、多様な施策が着実に実施されたほか、物価対策も適切に行われているので賛成します。

反 対

深谷 弘 議員

決算の認定について、反対の立場から討論を行う。私は、令和6年度当初予算に反対の討論を行った。予算は概ね評価できるが、学校給食費無償化（少子化対策）、ごみ袋料金無料化（市民負担軽減）の予算措置がないことなどを指摘した。

予算編成について、すなわち、市民の声をどのように把握し、ニーズや課題を的確に捉え、事業（予算）に反映させたのか、私たちにはそのプロセスが明らかにされない。3月定例会直前に予算書が提示されるだけでは、調査する時間があまりにも少なく、審議も不十分にならざるを得ない。

財政運営については、財調・減債・公共施設等整備基金の名目で、常に80億円を超える「余裕財源」が積み立てられており、基本的には「ハコモノ」に充てられている。

物価高騰で市民の暮らしが大変なとき、予算をどのように使うのが問われる。余裕財源を活用し、市民の負担軽減を図ることが、求められているのではないか。